

チーム医療論	4 年・後期	1 単位 15 時間	講師 木部 和枝
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121064

1. 授業のねらい・概要

医療は対象に応じて様々な職種がチームを組んで、その目的達成のために関わっている。医療従事者に必須のチーム医療について、現代の医療において何故チーム医療が必要なのか、その意義、チーム医療の重要性を理解し、その関係性、チームにおける看護者の役割、現状と課題について理解と、実践に応用するための方法を考察することができる。

2. 学修の到達目標

1. 他の専門職種の理解を深め、職種間のコミュニケーションの重要性を説明することができる。
(D-2)
2. チーム医療における看護師の役割を説明することができる。(D-2)
3. チーム医療における連携と協働について説明することができる。(D-3)

3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進めるが、視聴覚教材、演習によるグループワークを取り入れ、学生の主体的な取り組みができるように進めて行く。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	チーム医療とは何か	講義	予習：看護の統合と実践①看護マネジメント、医療安全、メヂカルフレンド社「チーム医療の実際」p84～101を読んでおくこと。 復習：講義内容のチーム医療の場とその特徴についての看護師に求められる役割について教科書を使ってまとめること。	木部 和枝
2	チーム医療の歴史	講義	予習：文献を使い、チーム医療の歴史についてレポートにまとめる。 復習：講義内容のチーム医療の変遷について、配布資料を使いまとめること。	木部
3	制度に基づく看護の役割	演習	予習：ナースィング・グラフィカ看護をめぐる法と制度「医療のスタッフの業務分担と連携に関する法の枠組み」p41～46を読んでおくこと。 復習：講義内容のタスクシフティング・タスクシェアリングにおける多職種の連携についての看護師に求められる役割について教科書を使ってまとめること。	木部 藤守 朋美
4	看護の専門性とは何か	演習	予習：看護の統合と実践①看護マネジメント、医療安全、メヂカルフレンド社「看護におけるマネジメント」p8～11、「チーム医療の実際」p84～101を読んでおくこと。 復習：講義内容の患者中心に動くチーム医療と、そこで求められる看護師の役割について教科書を使ってまとめること。	木部 藤守

5	チーム医療における看護の役割	講義	予習：看護の統合と実践①看護マネジメント、医療安全、メヂカルフレンド社「チーム医療の実践」p84～101を読んでおくこと。 復習：講義内容の看護師の役割と看護師の責任について教科書を使ってまとめること。	木部
6	チーム医療を支える職種の役割・協働	講義	予習：看護の統合と実践①看護マネジメント、医療安全、メヂカルフレンド社「保険医療の機能分化と連携」p142～151を読んでおくこと。 復習：講義内容の地域包括ケアシステムにおける、看護師の役割と看護師の責任について教科書を使ってまとめること。	木部
7	患者をとりまく療養環境	演習	予習：看護の統合と実践①看護マネジメント、医療安全、メヂカルフレンド社「地域における看護マネジメント」p154～160、ナーシング・グラフィカ地域療養を支えるケア「在宅看護の背景」p21～33を読んでおくこと。 復習：講義内容の元の暮らしに帰るためのマネジメントや、これからの在宅看護における看護師の役割と看護師の責任について教科書を使ってまとめること。	木部 藤守
8	チーム医療の課題と展望 知識試験	演習	予習：事例に基づき入院から在宅療生活までの看護師のマネジメントについて、演習（グループワーク）を実施するので、看護の統合と実践①看護マネジメント、医療安全、メヂカルフレンド社「重症度、医療、看護必要度」p149～151、公衆衛生看護学.jp「地域ケアシステム」p157～164、ナーシング・グラフィカ地域療養を支えるケア「社会資源の活用」p142～144を読んでおくこと。 復習：演習後に他学生の事例のマネジメントについて、自分が展開したマネジメントと比較して、追記する項目、課題についてリフレクションを行い、レポートにまとめる。	木部 藤守

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70％、演習課題30％で総合的に評価する。合格基準は60％以上とする。合格基準に満たない（60％未満）場合は、単位認定できない。

定期試験の出題範囲及び出題方法等は、講義内にて口頭で説明する。

演習課題について、詳細および演習方法、提出期限、提出方法（場所）は第1回講義内で紙面にて提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト

1. 高橋則子, 小沢かおり, 吉原章子他（2021） 看護の統合と実践①看護マネジメント医療安全 メヂカルフレンド社
2. 平林勝政, 小西知世, 和泉沢千恵（2022） ナーシング・グラフィカ健康支援と社会保障④看護をめぐる法と制度 株式会社メディカ出版.
3. 臺有桂, 石田千絵, 山下留理子（2022） ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論(1)地域療養を支えるケア（第7版） 株式会社メディカ出版.
4. 荒賀直子, 後閑容子（2022） 公衆衛生看護学.jp（第5版データ更新版） インターメディカル参考文献

1. 細田満和子（2021） 「チーム医療」とは何か, 患者・利用者本位のアプローチに向けて（第2版）日本看護協会出版.

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低 1 時間以上の予習及び，授業内容について 1 時間以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

日常的に新聞を読みニュースに触れるように心がけ，図書館を利用し文献や専門雑誌に目を通すこと。
遅刻，欠席ならびに授業中の私語，授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。
講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の解答は試験後に口頭にて解説する。
提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

行政委託機関及び，医療機関での保健師としての勤務経験を活かして，講義・演習を行う。